

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性						
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み		
								現状 (病院回答から転記(抜粋))	今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))	
1	大垣市民病院	公立	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> 西濃医療圏域における中心的役割を担っている。 地域がん診療連携拠点病院(高度型) 	現在の医療提供体制を継続する。	
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> 西濃医療圏域における中心的役割を担っている。 CCUあり 	現在の医療提供体制を継続する。	
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> 西濃医療圏域における中心的役割を担っている。 	現在の医療提供体制を継続する。	
			救急医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 西濃医療圏域における中心的役割を担っている。 救急告示病院 救命救急センター(三次救急医療機関) 	現在の医療提供体制を継続する。	
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 西濃医療圏域における中心的役割を担っている。 小児救急医療拠点病院 	現在の医療提供体制を継続する。	
			周産期医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 西濃医療圏域における中心的役割を担っている。 岐阜県地域周産期母子医療センター 	現在の医療提供体制を継続する。	
2	西美濃厚生病院	公的	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> 消化器・泌尿器は常勤医により手術、専門的な治療を実施しており、ほぼ自院で対応。 常勤医不在の診療科(乳腺・放射線)については基幹病院並びに近隣連携機関等へ紹介。 呼吸器内科専門医が在籍し、紹介を含め診療を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 揖斐厚生病院と病床再編を行い、大野町に新病院の建設(2023年10月完成予定)を計画している。新病院開設までの間は、現状の体制維持に努める。 なお、新病院開設後については、地理的要因により必要な診療機能を維持しながら、回復期・慢性期を中心とした医療を提供する。 令和2年11月に開催された、第2回西濃圏域地域医療構想等調整会議において、揖斐厚生病院と当院の再編計画を説明し了承された。 	
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> 非常勤医により外来診療を実施。 超急性期の治療を要する場合は、基幹病院等へ搬送し速やかな治療ができる連携体制を維持。 		
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> 脳神経外科の常勤医が1名在籍し、大学病院から非常勤医の派遣を受けて外来診療を実施。 超急性期の治療を要する場合は、基幹病院等へ搬送し速やかな治療ができる連携体制を維持。 		
			救急医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 地域からの救急受入要請に対応。 大腿骨骨折等の対応は、整形外科の常勤医が在籍し、手術・専門的な治療を含めほぼ自院で対応。 心臓疾患・脳疾患等、超急性期の治療を要する場合は、基幹病院等へ搬送し速やかな治療ができる連携体制を維持。 		
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 小児科の常勤医が1名在籍し、大学病院から非常勤医の派遣を受けて外来診療や軽度な疾患による入院に対応。 超急性期の治療を要する場合は、基幹病院等へ搬送し速やかな治療ができる連携体制を維持。 		
			周産期医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 産科(周産期医療)は対応していない。 婦人科は非常勤医により外来診療を実施。 超急性期の対応を要する場合は、基幹病院等へ搬送し速やかな治療ができる連携体制を維持。 		

6領域ごとの2025年の病院（公立・公的）の役割分担の方向性等を踏まえた医療提供体制について

No.	医療機関名	設置主体	領域	医療機能の方向性				当領域における病院の医療提供状況及び今後の見込み	
				他院との連携・機能分担	機能統合	機能縮小（廃止）	その他	現状 (病院回答から転記(抜粋))	今後の見込み、予定 (病院回答から転記(抜粋))
3	揖斐厚生病院	公的	がん	○				<ul style="list-style-type: none"> 各専門医による診療実績あり。(乳腺・消化器、泌尿器) 呼吸器内科専門医は不在であるが、循環器内科医等が診療を行っている。(肺・呼吸器) 放射線治療医が不在であるため、治療を要する場合は岐阜大学病院や基幹病院へ紹介。 	<ul style="list-style-type: none"> 厚生連病院間(揖斐厚生病院と西美濃厚生病院)における病床再編を行い、令和5年10月には揖斐郡大野町内に新病院の建設を計画している。 新病院建設に際しては、岐阜大学の協力を得つつ、医師の確保を含め、診療態勢の整備・各診療分野における拡充等を図るとともに、岐阜大学病院や基幹病院等との相互連携態勢により地域医療提供態勢の整備を図る。 令和2年11月に開催された、第2回西濃圏域地域医療構想等調整会議において、当院と西美濃厚生病院の再編計画を説明し了承された。
			心筋梗塞等の心血管疾患	○				<ul style="list-style-type: none"> 循環器内科専門医による診療実績あり。 超急性期治療、外科的手術は基幹病院へ搬送し、速やかな治療が実施できるよう連携体制を維持している。 	
			脳卒中	○				<ul style="list-style-type: none"> 脳神経外科は、岐阜大学病院から非常勤医師の派遣を受け、外来診療を行っている。 超急性期治療は、基幹病院等迅速に搬送し、速やかな治療が実施できるよう連携体制を維持している。 	
			救急医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 西濃北部地域の基幹的な救急告示病院として、揖斐郡消防・大垣北部からの救急患者の受入れを行っている。 超急性期治療を要する脳疾患・心疾患や交通外傷患者等は基幹病院等への紹介等を行っている。 	
			小児医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 小児科常勤医、岐阜大学病院から非常勤医師による外来診療や軽度な疾患症状の入院診療を行っている。 超急性期治療を要する場合は、基幹病院等迅速に搬送し、速やかな治療が実施できるよう連携体制を維持している。 	
			周産期医療	○				<ul style="list-style-type: none"> 常勤医による外来診療を行っているが、産科(周産期医療)には対応できていない。 超急性期治療を要する場合は、基幹病院や近郊連携医療機関等へ迅速に搬送し、速やかな治療が実施できるよう連携体制を維持している。 	